

令和元年度 施策評価表

施策	0503	医療体制の充実	施策担当部等	福祉保健部	部長	川下 隆治
			施策担当課等	国保けんこう課	課長	坂上 正信
施策の方針 救急医療体制の充実を図るとともに、市民病院の医療サービス向上に努める。						

【DO（実施）】
基本計画における目標値

指標名	単位	基準値 (H26)	H28目標値	H29目標値	H30目標値	R1目標値	R2目標値	H30年度	
			H28実績値	H29実績値	H30実績値	R1実績値	R2実績値	達成率	進捗率
① 休日・夜間における年間外来患者数（当番医と夜間初期診療センターの合計人数）	人	10,051	10,000 9,962	10,250 10,325	10,500 10,191	10,750	11,000	97.1%	92.6%
② 市民病院の年間外来患者数	人	73,986	75,700 79,240	76,500 80,594	77,100 78,974	77,700	78,300	102.4%	100.9%
③									
④									
⑤									

施策達成状況の説明	
①	救急医療を必要としない軽症患者について、休日においては休日当番医、夜間においては夜間初期診療センターを利用してもらうよう広報や市のホームページ、チラシ等で周知を図ったが、目標値を達成することができなかった。
②	2次医療機関として力を注いだ結果、目標値は達成しているが、患者数は前年度比で減少している。減少の主な原因は、①整形外科の外来診療で、平成30年6月から毎週火曜日を休診日とし、整形外科手術への対応強化をしたための外来患者の自然減。②循環器内科で、開業医からの紹介患者への集中に力を入れたことによる外来患者の自然減。

施策経費

(単位:千円)		H30年度 決算	R1年度 予算	R2年度 見込	特記事項
内訳	事業費	821,677	819,797	849,354	
	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	510	510	510	
	地方債	0	0	0	
	その他	151,820	152,097	154,575	
	一般財源	669,347	667,190	694,269	
	人件費	23,044	21,160	-	
フルコスト		844,721	840,957	-	

施策の概要

050301	安心して受診できる体制づくり	休日や夜間に市民が安心して医療機関を受診できるよう、大村市夜間初期診療センター、民間医療機関、市立大村市民病院及び国立病院機構長崎医療センターの連携を強化します。 また、日頃から安心して受診できる身近な「かかりつけ医」の普及促進に努めます。
050302	市民病院の機能充実	老朽化した市立大村市民病院を改築し、病院機能の充実を図るとともに、地域医療の中核病院として、「市民の生命と健康を守り、地域に根ざし、市民に信頼される病院」づくりを進めます。

【CHECK（評価）施策担当部長】

施策を達成する上での問題点・課題	夜間初期診療センターについては、平成25年5月から小児科と内科の2科診療となった。平成29年度の一日平均利用者数は、11.7人、平成30年度では、10.8人と前年度より小児科・内科ともに減少した。 夜間初期診療センターでの診療は、年々認知度が上がってきているが、さらに周知に努め、夜間における軽症の患者の利用促進を図る必要がある。 市立大村市民病院については、今後も引き続き2次救急医療機関として、地域医療の中核を担う必要があることから、医師の確保に努めていく必要がある。
------------------	--

【CHECK（評価）評価調整委員会】

--	--

【ACTION（改善・改革）】

問題点・課題を踏まえた施策構成事務事業の改善・改革や新規事業についての考え方	夜間初期診療センターは、年間を通じて毎日夜間に軽症患者の診療を行っており、長崎医療センター及び市民病院の患者数を抑制し、夜間における本市の高度救急医療の機能を守っている。 現在、設置目的どおりの効果を上げているが、今後も市民への更なる周知に努めていきたい。
--	---

令和2年度新規事業

事業名（仮称）	担当課	R2年度見込	対象・事業概要など
		事業費（千円）	
1			
2			
3			
4			
5			
		0	